



幼児教育の充実を図る ～幼児教育研究協議会2期～

令和5年度の幼児教育研究協議会2期が、8月25日に行われました。この会は、文部科学省と高知県教育委員会主催で、園運営・管理、保育技術に関する専門的な講義、研究協議などを行うことにより、幼児教育の振興・充実を図ることを目的としています。高知県内の幼稚園や保育所等の幼児教育関係者だけでなく、小学校の教員や管理職、市町村の主管課等、145名が一堂に会する研修会となりました。

実践発表①

～幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について～

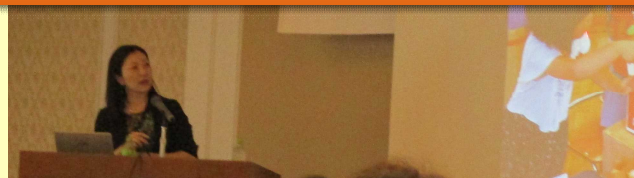


津野町立幼保連携型認定こども園さくらんぼ園

幼稚園と小学校の先生が同じ視点をもって幼小連携の実践をし、認識のすりあわせを行う事例の発表がありました。

講義

國學院大學人間開発学部子ども支援学科
吉永安里先生



「幼児教育と小学校教育の学びと生活をつなぐ～主体的な学びと生活を大切にする架け橋期の教育～」と題し、具体的な幼稚園や小学校のご経験等も交えながら、全国的な状況や情報、研究などを元に説得力のある講義をいただきました。

実践発表②

～幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について～



香南市立野市東幼稚園

砂遊びを通して年齢別に姿や育ちを捉え、保護者へのお便りや懇談会で、子どもの育つ過程で大切にしていることを発信する取組の発表がありました。

分科会



同じ研究テーマの園が集まり、グループ内で自園の事例を元に協議をしました。「自園の課題について、解決策や参考となる取組を知ることができた」「子育て支援の発信方法も考えることができた」「小学校の先生方に幼児期の学びについて話をしたり、伝えたりしていきたい」・・・1つでも多く自園のものにしようと熱心な先生方の姿がありました。